

国内初となる国産 SAF の大規模生産実証設備向け 廃食用油精製用 遠心分離機「三菱ディスクセパレータ」を受注

三菱化工機株式会社(代表者:田中 利一、所在地:川崎市、以下「当社」)は、日揮ホールディングス株式会社(代表取締役会長 CEO:佐藤 雅之、以下「日揮 HD」)、コスモ石油株式会社(代表取締役社長:鈴木 康公、以下「コスモ石油」)、株式会社レポインターナショナル(代表取締役:越川 哲也、以下「レポインターナショナル」)、日揮株式会社(代表取締役 社長執行役員 山田 昇司、以下、「日揮」)の4社が取り組む、国内初となる廃食用油を原料とした国産 SAF(Sustainable Aviation Fuel:持続可能な航空燃料)の大規模生産実証設備の建設に向け、分離板型遠心分離機「三菱ディスクセパレータ SJ シリーズ」を受注しました。

本実証設備は、国内初となる国産 SAF の大規模生産を目指し、100%廃食用油を原料とした年間約3万キロリットルの SAF の生産実証を行うものです。

当社のディスクセパレータは、供給する懸濁液*1 から遠心力により固形物を分離し、清澄液*2 の連続回収と分離固形物の自動間欠排出が可能な連続遠心分離機です。本実証設備向けでは、ディスクセパレータの分離性能が評価され、原料廃食用油に含まれる夾雑物*3 の除去用として利用されます。

当社の遠心分離機「三菱ディスクセパレータ」は、主に船舶用燃料油、潤滑油用の油清浄機として70余年の歴史と11万台以上の納入実績を持つ、分離板型遠心分離機のベストセラーです。船舶用に加えて、今回納入したクリーンエネルギー分野での用途も拡大しています。今後も当社は、SAF 製造プラント向けなどへのディスクセパレータの供給により、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1: 懸濁液(けんだくえき: 固体粒子が液体中に分散した混合液)

*2: 清澄液(せいちようえき: ろ材を通過して固体物質と分離された液)

*3: 夾雑物(きょうざつぶつ: 不純物)

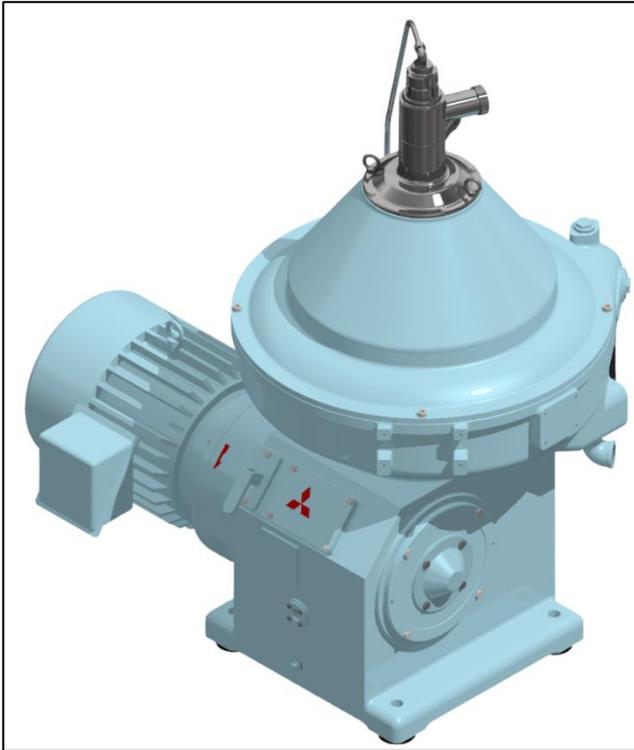
お問い合わせ先

 三菱化工機株式会社

川崎市幸区堀川町 580 番地
ソリッドスクエア東館

企画部 広報・CSR課
電話 044-333-5377 Fax 044-577-7754

■製品写真



分離板型遠心分離機「三菱ディスクセパレータ SJ シリーズ」

■本リリースの取り組みを通じて、当社は SDGs(持続可能な開発目標)における次の目標に貢献します。

- ・目標 7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
- ・目標 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- ・目標 13 気候変動に具体的な対策を
- ・目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう



以上

お問い合わせ先

三菱化工機株式会社

川崎市幸区堀川町 580 番地
ソリッドスクエア東館

企画部 広報・CSR 課

電話 044-333-5377 Fax 044-577-7754